



# 道

2023年8月1日  
(第99号)

新聞の「折々のことば」欄で紹介されていた本、西加奈子著『くもをさがす』をじっくり大事に読んでいます。移住したカナダで乳がん罹患した著者のノンフィクションだ。▼言葉も十分に通じない海外で、「怖い」がんの治療を受ける。「自分がこの体で、圧倒的な弱さと共に生きていくことに、目を見張った」と言う彼女に、多くの人たちが手を差し伸べる。治療の相談支援だけではない。抗がん剤治療の間、友人たちが順番に毎日ご飯を届けた。定期的に幼い子供を預かってくれる友人がいる。いろいろなことで彼女と家族を支える。それは、移民の街バンクーバーに住んでいることにも関係する。ここでは、「誰かを頼らずには生きてゆけない」、「助け合わないと生きてゆけない」。彼女は、その「事実」を見つめる。そして、助けられることに慣れ、助けることに慣れる。※ ▼さて、先日、映画「マイスマールランド」を観た。迫害、弾圧から逃れて日本に移り住んだクルド人を親に持ち、日本で育った美しいクルド人女子高校生の目に映る日常が描かれていた。日本で苦勞しながら必死に生きる外国人(移民・難民)に対して、日本という国は何故こんなにも冷酷になれるのかと考えさせられる場面が少なくなかった。※ ▼故国を離れて暮らす二つの事例から思う。弱い者が助けられるのは当たり前前の街があり、一方で、弱い人を更に痛めつける国がある。この違いはなんだろう。これだけと言える。人は「喜びを奪われるべきやない」のだ。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp

林道也



遠田  
棕の木

※『くもをさがす』西加奈子著 河出書房新社 49-63 頁

※ 映画「マイスマールランド」オフィシャルサイト ⇒ <https://mysmallland.jp/>